

北村敏克館長 着任インタビュー

山口県立美術館は、令和4年4月1日より新館長とともに新たなスタートをいたしました。北村館長のいまの想いをご紹介します。



Profile

徳山市(現 周南市)生まれ。山口県総合企画部次長、総合企画部長を歴任。山口県退職後は、地方独立行政法人山口県産業技術センター副理事長を務め、令和4年4月から県立美術館館長に就任。

① 館長に就任後もうすぐ2ヶ月が経ちますが、所感を願います。

これまで文化とは縁のない仕事をしてきましたから、素晴らしい芸術作品が身近にあるという日々を過ごせるのは貴重な経験だと思っています。

また、美術館は観光政策上も非常に重要な位置をしめますから、これまでの経験も活かしながら、県や市町の観光施策ともしっかりと連携を図っていきたく考えています。

② 山口県美のよさを紹介するとしたら、どんなところでしょうか。

雪舟から香月泰男という山口県にゆかりが深く、また芸術的価値の高い作品をたくさん収蔵していることと、こうした作品を有効に活用するとともに数多くの企画展を成功させてきた優秀な学芸員を擁していることでしょうか。

また、美術館の立地環境も自慢できるところだと思っています。亀山公園の中にあり、「日本の道百選」にも選ばれたパークロード

の樹々と美術館のレンガの外壁のコントラストは見事ですし、ことに紅葉や落ち葉の舞い散る中の美術館の佇まいは筆舌に尽くしがたいものがあります。

③ 読者の方々へのメッセージをお願いします。

新型コロナの影響で県立美術館も休館を余儀なくされた時期もありましたが、そうした状況の中にあっても本物の優れた芸術作品に触れる機会は積極的に提供していかねばなりませんし、安心して鑑賞できる対策も講じていく責務があると思っています。

今年度は7月から山口県出身の偉大な映像作家の仕事を紹介する「庵野秀明展」を開催するほか、9月には雪舟と室町文化をテーマとした企画展も予定しています。皆さんに来館してよかったと思ってもらえるような展覧会にしていきたいと思っておりますし、万全の感染防止対策も講じてまいりますので、ぜひ美術館に足をお運びください。



2022 - 2023 schedule

	コレクション展示	特別展示
7月	7/8(金)~9/4(日) アニメーション 江戸時代の動的画卷 —佐々木繪往「番外射張図」	7/8(金)~9/4(日) 松田正平と宇部
8月		特別展 7/8(金)~9/4(日) 庵野秀明展 ファーストマンデー 8/1
9月	9/16(金)~10/16(日) 雪舟流	9/16(金)~10/16(日) 香月泰男の 造形の軌跡 —1930 ~ 1950年代—
10月	9/16(金)~12/11(日) パノラマ 山水長巻 デジタル映像による 国宝・四季山水図	
11月	10/25(火)~12/11(日) 森寛斎と森派 の絵画	10/25(火)~12/11(日) 宮崎進 展
12月		11/24(木)~12/11(日) 第75回山口県美術館展覧会

新型コロナウイルス感染症の予防・拡散防止のため、会期・開館時間・入場方法等が変更になる場合がございます。ご来館の際は、当館ホームページにて最新の情報をご確認ください。

Information

■休館日 月曜日 ※祝日・休日、特別展開催中の第1月曜日 **ファーストマンデー** は開館。
臨時休館 6月20日(月)~7月7日(木)、9月5日(月)~15日(木)、10月17日(月)~24日(月)、
11月4日(金)~14日(月)、12月12日(月)~2023年3月31日(金)

■開館時間 9:00~17:00(入場は16:00まで)

■料金 金 コレクション展:一般300円 学生200円
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。
※障がい者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。
※令和4年(2022年)度メンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員の方、法人サポーターズ会員の方は無料。
※団体の受け入れを中止しています。
特別展ほか:別途定めた料金

Facebook Twitter Instagram HP

山口県立美術館の公式アカウントはこちらから

山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural Art Museum
〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790
https://www.yma-web.jp/

Yamaguchi Prefectural Art Museum

138

Contents

コレクション展

特別展

庵野秀明展

からえ
唐絵の系譜

將軍家の襖絵／雪舟と狩野派

新館長着任インタビュー

年間スケジュール

山口県立美術館ニュース「天花」

天花

TENGE



宮崎進 《昼》1967年

コレクション展

宮崎進 展

2022 10/25 火 — 12/11 日

表紙作品解説

宮崎進 《昼》

1967年 油彩・カンヴァス

山口県立美術館所蔵

今から30年以上も前、この絵を初めて見たとき、画面のなかがゆっくりと動いているような印象をもったことを思い出しました。青く澄んでいるけれど少し曇りのある冷たい光のなかで、眠っている人物の身体が夢のなかの出来事のように柔らかくなってゆく。そして部分が少しずつ剥がれて溶け出して変化してゆくようなイメージ。不思議だなと感じながらも、心地よく眺めていたように思います。

その後、画家が『芸術新潮』1988年3月号に書いた「牢獄の中のやさしき伴侶」を読んで、なるほどと納得したことがありました。「バッハのオルガン、ヘンデル、クープランはわたしの好きな音の中心で、三十年も前からクープランのクラヴサン、特に「夜の鶯」は今でも手離すことはない。たゆたうような音の陰影は、瞑想の空間をつくりわたしの伴走者になっている」。もちろん音楽をそのまま絵画化するようなことではないでしょう。けれども、この揺らぎながら動いてゆくイメージは音の陰影が与えたものにちがいない、とそのとき私は理解できました。

宮崎進は1967年に安井賞を受賞し、本格的に画壇にデビューします。しかし72年に渡仏するとパリにアトリエを構え、ヨーロッパ各地を旅してまわり、74年まで滞在しました。渡仏以前からヨーロッパ音楽に惹かれていた宮崎は、彼の地で何を感じたのでしょうか。この作品のもつ乾いた静かな明るさは、宮崎がヨーロッパから受け取ってきたもののひとつだったと思います。

(学芸参与 斎藤郁夫)

山口県立美術館ニュース「天花」第138号 令和4年7月発行

編集 指定管理者センター・パブリシティ・インター・ビズグループ 発行 山口県立美術館 印刷 報知社写真印刷株式会社

特別展

庵野秀明展

HIDEAKI ANNO EXHIBITION



東京展の様子 提供：庵野秀明展実行委員会



「じょうぶなタイヤ! SHADOタイヤ」1980年発表 ©H.ANNO



「風の谷のナウシカ」1984年公開 ©1984 Studio Ghibli・H

会期 **2022年 7月8日(金) - 9月4日(日)**
休館日：月曜日(ただし、7月18日、8月1日 **ファーストマンデー**、8月15日は開館)
開館時間：7月 9:00-17:00 (入館は16:00まで)
8月・9月 9:00-18:00 (入館は17:00まで)
※8月・9月の毎週金・土は20:00まで開館 (入館は19:00まで)

観覧料 セブン-イレブン店頭(チケットぴあ)にて、チケットをお買い求めの上、ご来館ください。本展は事前予約制(日時指定)です。
障害者手帳等をお持ちの方とその介護の方1名および未就学児に限り、事前予約不要

日時指定券(当日) チケットぴあ ※()内は学生・70歳以上
[Pコード: 562-273] 1,700 (1,500) 円

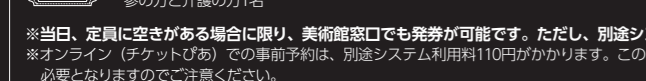
日時指定券(前売) [Pコード: 562-273] 1,500 (1,300) 円
(入館前日の23:59まで)

7月平日いつでもチケット [Pコード: 697-047] 1,500 (1,300) 円

①7/8・12~15 ②7/19~22 ③7/26~29
上記①②③それぞれの期間内であればいつでも入場可

無料 以下に該当する方は無料でご覧いただけます。【事前予約の必要な方】18歳以下の方、高等学校・中等教育学校在籍の方、メンバーズクラブ会員、法人サポーターズ会員、キャンパスメンバーズ会員 【事前予約の不要な方】未就学児、障害者手帳・療育手帳等をご持参の方と介護の方1名

※当日、定員に空きがある場合に限り、美術館窓口でも発券が可能です。ただし、別途システム利用料として110円がかかります。※オンライン(チケットぴあ)での事前予約は、別途システム利用料110円がかかります。この場合もセブン-イレブン店頭での発券が必要となりますのでご注意ください。詳細はWEBサイトへ▶



【主催】山口県立美術館、宇部市、山口市、KRY山口放送、朝日新聞社 【協賛】DNP大日本印刷 【企画】庵野秀明展実行委員会
【企画協力】カラー、グラウンドワークス、アニメ特撮アーカイブ機構 【山口会場特別協賛】UBE株式会社、西京銀行

山口県宇部市出身の映像作家、庵野秀明(1960-)。社会現象を巻き起こした『新世紀エヴァンゲリオン』(1995)シリーズのほか、『シン・エヴァンゲリオン劇場版』(2021)の大ヒットも記憶に新しい『新劇場版』シリーズ全4部作、脚本・総監督を務めた『シン・ゴジラ』(2016)、企画・脚本を務めた『シン・ウルトラマン』(2022)など、アニメ・実写を問わず、これまで多くの話題作、ヒット作を世に送り出してきました。

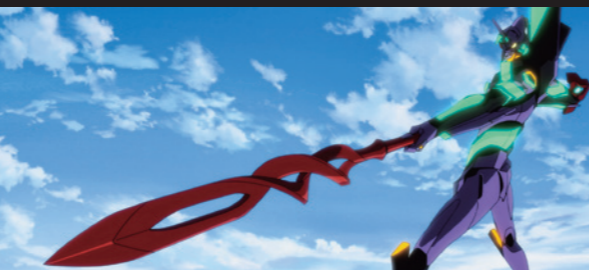
本展は、多彩な制作資料等を通じて、その創作活動の秘密に迫るものです。庵野秀明の原点たる「アニメ」「特撮」作品の貴重な原画やミニチュア等のほか、アマチュア時代、アニメーター時代に参加していた作品から、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事まで、直筆のメモやイラスト、独自の映像作りに欠かせない脚本、設定、イメージスケッチ、画コンテ、レイアウト、原画からミニチュアセット等々、制作の過程を伝えてくれる資料の数々を余すことなく展示いたします。



「新世紀エヴァンゲリオン」1995年放送 ©カラー/Project Eva.



「シン・ゴジラ」2016年公開 ©TOHO CO.,LTD.



「シン・エヴァンゲリオン劇場版」2021年公開 ©カラー



国宝 雪舟等楊《四季山水図(山水長巻)》(部分) 室町時代 毛利博物館

特別展 からえ 唐絵の系譜

將軍家の襖絵

雪舟と狩野派

会期 **2022年 9月16日(金) - 10月16日(日)**

開館時間：9:00~17:00 (入場は16:00まで)
休館日：9月26日(月)
(※10月3日は **ファーストマンデー** のため開館)

観覧料 一般 1,500 (1,300) 円
シニア・学生 1,300 (1,100) 円

*シニアは70歳以上の方、()内は前売りおよびオンラインチケットの料金。
*高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。
*障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

18歳以下 **無料**

【会場】山口県立美術館 【主催】山口県立美術館、読売新聞社、KRY山口放送ほか



重要文化財 天章周文《四季山水図屏風》(左隻) 室町時代 ウッドワン美術館



伝雪舟《富士三保清見寺図》室町時代 永青文庫

日本美術史を代表する大画家の一人である雪舟等楊(1420-1502/06?)は、室町時代(1336-1573)に山口の地で活躍しました。京都・相国寺で足利將軍家の御用絵師である周文(生没年不詳)に絵を学んでいた雪舟が来山したのは、35歳の頃だったと考えられています。

その際に雪舟を庇護していたのは、当時西国一の勢力を誇った守護大名の大内氏でした。大内氏は京都指向が強く、山口は京都に似せて町づくりがなされ、また大内氏の居館・大内氏館は、[花の御所=室町殿]に代表される京都の足利將軍邸を模して築造されていました。

そして周文や雪舟が將軍邸や大内氏館の襖に描いた絵は、〈唐絵(からえ)〉と呼ばれる中国絵画をお手本にした山水図や花鳥図でした。周文や雪舟が描いたそれらの絵もまた日本製の〈唐絵〉と呼ばれていました。

こうした〈唐絵〉を尊重し、制作の規範とする美術文化は、室町時代の足利將軍家から、江戸時代の徳川將軍家へと継承され、日本の武家文化の大きな柱の一つとなりました。

本展では、將軍邸や大内氏館を華やかに飾った襖絵を(同画題の屏風を展示することによって)復元することを試みながら、周文、雪舟、そして狩野探幽(1602-74)をはじめとする江戸狩野派という御用絵師(唐絵画家)の系譜を、[將軍家の襖絵] / [雪舟と狩野派] という2つの展示によって辿ります。